

手話の歴史言語学

データベースの構築と一般歴史言語学における展開をめざして
Database Architecture and Methodology



Historical Sign Linguistics

現在、世界各地で使われている
さまざまな手話。
国際的に活躍する研究者が、
その発達史の一端をひもときます。

2011 / 7 / 28 (木)
8:30 ~ 12:40 (受付開始 8:00)

- 主催
- 人間文化研究機構
 - 国立民族学博物館
 - 日本手話研究所
 - 国立国語研究所
- 助成
- 独立行政法人 日本万国博覧会記念機構
- コーディネーター
- 大杉豊 (筑波技術大学)
 - 菊澤律子 (国立民族学博物館)

国際ワークショップ

手話の歴史言語学

検索



音声言語にたくさんの言語や方言があるように、手話言語にもさまざまな言語や方言があります。また、ことばは音声言語・手話言語を問わず、時代とともに変化します。このワークショップでは、手話がどのように発達してきたのかを知るための研究と、その研究をささえるデータベースづくりの手法について、日本手話やアメリカ手話はもちろんのこと、東南アジアや東アジアの手話言語にも触れながら議論を展開します。国際歴史言語学会の一分科会を一般に公開するものですので専門的な内容にはなりませんが、ご関心のある方はぜひご来場いただけたらうれしく思います。

- 於** 国立民族学博物館講堂 (450 席)
- 参加費** 無料
- 要事前申込** お名前、ご住所、電話 (FAX) 番号、メールアドレス、手話使用の有無をお知らせください。参加証を発行します。
(ICHL20 参加登録者は申し込み不要)
- 使用言語** アメリカ手話、英語、日本手話、日本語 (同時通訳あり、要約筆記などはなし)
- 申し込み・問い合わせ先**
国立民族学博物館 icHL.shuwa@minpaku.ac.jp
(または、切手貼付返信用封筒同封の上、国立民族学博物館菊澤研究室まで郵送)

プログラム

- 8:30-9:30** 手話の類型化と多様性のモデル化における歴史的役割
[アメリカ手話による発表]
テッド・スパラ (ロチェスター大学)
- 9:40-10:10** 1901 年から 2011 年に至る日本手話の歴史的変化のデータベース
[英語による発表]
神田和幸 (中京大学)・大杉豊 (筑波技術大学)
- 10:10-10:40** 日本手話における性標識と親族関係標識についての通時・共時的分析
[日本手話による発表]
大杉豊 (筑波技術大学)
- 11:05-11:35** 東南アジアにおける手話言語の歴史 (比較) 言語学的研究
[英語による発表]
ジェームズ・C・ウッドワード (香港中文大学)
- 11:35-12:05** 東アジアにおける手話言語の語彙比較 一歴史的観点から一
[英語による発表]
佐々木大介 (武蔵野大学)
- 12:10-12:40** ディスカッション

テッド・スパラ



ロチェスター大学・准教授、カリフォルニア大学サンディエゴ校で博士号取得
ロチェスター大学の脳認知科学部および言語学部で研究教育活動をすすめる。専門分野は世界の手話言語。著書に、『手話の考古学—現代手話の記述を歴史言語学研究に生かす—』(Editora Arara Azul, 2008)、『手話言語資料の一般公開化にむけて』(2002, Journal of Sign Language Linguistics)、『国際手話の文法：ビジョン言語分析への新たな視点』(Lawrence Erlbaum, 1995) などがある。また、Deaf Studies Digital Journal (<http://dsdj.gallaudet.edu>) の History の欄には、ビデオを使った手話による論文も掲載されている。



神田和幸



中京大学・教授、京都工芸繊維大学にて博士号取得
手話言語学の分野において、日本手話の言語構造、とくに音韻論と形態論の解明に取り組む一方、日本手話学会元会長、NPO 手話技能検定協会元理事長をつとめる等、社会分野にも貢献してきた。著書に『手話の言語的特性に関する研究』(福村出版、2010)、『基礎から学ぶ手話学』(福村出版、2009) がある。



大杉豊



筑波技術大学・准教授、米ロチェスター大学にて博士号取得
専門分野は手話言語学、デフ・スタディズ。日本の手話に関する通時・共時両面の言語コーパス作成研究に携わっている。30 語の語彙について各都道府県で使われる手話表現を地図と動画で紹介する手話言語地図試作版を 2010 年に製作・公開中。
<http://www.a.tsukuba-tech.ac.jp/ge/~osugi/jsmap/>
共編著に『わたしたちの手話 学習辞典』(10 年、全日本ろうあ連盟) がある。



ジェームズ・C・ウッドワード



香港中文大学、ジョージタウン大学で博士号取得
香港中文大学言語学部名誉教授、同大学手話およびろう文化研究センター所長。手話言語やデフ・スタディズに関する言語学・人類学的な研究に加え、手話とろう文化を支えるさまざまな国際的プロジェクトの発展に寄与してきた。そのなかには、ろう者をタイ手話専門の教師として育成するための初の試みである「タイ国世界ろう者リーダーシップ研修」(1997-2002) や、ベトナムにおける「ろう者のための高等教育を拓くためのプロジェクト」(2000-) などがある。



佐々木大介



武蔵野大学・准教授、米テキサス大学オースティン校博士課程単位取得退学
専門は言語学、特に手話言語学。研究対象は、手話言語の音声学・音韻論からろうの文化的側面に及び、現在は台韓 3 手話言語の語彙比較研究に取り組む。2010 年、NHK 教育テレビ「ろうを生きる難聴を生きる」に出演、日本手話と韓国手話の語彙比較研究が取り上げられる。著書に『東アジアにおける手話の語彙比較：台湾手話に対する日本手話の影響に関する予備研究』(日本手話学会、2009)、訳書に『文化としてのろう』(共訳、D PRO、1995) などがある。



みんなくご利用案内

交通案内

- 大阪・千里万博記念公園内 ●大阪モノレールで「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車徒歩約 15 分 ●阪急茨木市駅、JR 茨木駅、北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車徒歩約 15 分 (茨木方面から、「自然文化園・日本庭園中央」経由のバスが 1 時間に 1 本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。)
- 自家用車の場合は、万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料) から徒歩約 5 分 ●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてください。「日本庭園前駐車場」を利用される方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。●自然文化園を通行される場合は、同園の入園料 (大人 250 円、小・中学生 70 円) が必要です。ただし、大阪モノレール「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。

